

与野西北八王子学校区学校運営協議会会報

児童を交えての熟議、地域と共にある学校を目指して

～「地域によって育まれる『輝くひとみ』の子どもたち」の実現のために～

2月13日(木)に令和6年度第3回与野西北八王子学校区学校運営協議会が与野西北小学校を会場に開催されました。昨年度に引き続き、与野西北小計画委員の児童が参加しました。はじめに、児童会の取組として以下の内容の発表がありました。

- (1) あいさつ運動
 - ・中学生、保護者、地域の方と関わることで、今まで明るい空気になった。
- (2) たてわり活動
 - ・他学年との交流を通して、相手のことを知るきっかけとなった。
- (3) 西北フェスティバル
 - ・他学年と協力することで、仲を深めることができた。
- (4) 西北大臣
 - ・標識などの掲示物を貼ることで、意識を高めることができた。

また、児童会から地域の方に大きく2つの提案がありました。

○あいさつについて

- ・登下校の際に、笑顔であいさつをしてほしい。
- ・優しく声をかけてほしい。

○登下校のルールについて

- ・ルールを守っていない人に注意してほしい。
- ・下校時も見守ってほしい。
- ・大人にルールを守るお手本になってほしい。

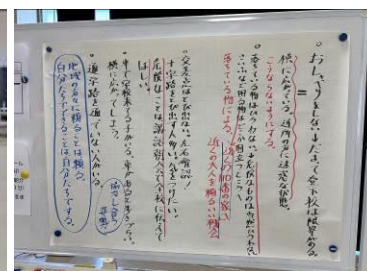
次に、小学校と中学校に分かれて熟議を行いました。計画委員の児童は、引き続き、小学校グループの熟議に参加し、委員の皆様と直接意見を交流しました。小学校グループでは、登下校のルールについて、児童の目線からの意見に対して大人からの考えを伝え合う形で進行しました。中学校グループでは、前回同様、防災教育の視点で、中学生が地域とどのように関わっていくか話し合われました。



【児童発表の様子】



【熟議の様子 左:小学校 右:中学校】



【熟議の記録(一部)】

熟議で出された意見をまとめると、小学校グループは、地域の方々に頼るところは頼ることと、自分たちでコミュニケーションをとって解決していくことが大切であり、児童(学校)、保護者、地域の意見をまとめた『登下校のルール』を年度内に示すこととなりました。中学校グループでは、避難所解説訓練に参加したり、防災トイレの設置方法を学習したりすることで意識を高め、生徒が自発的に地域に声をかけて関わっているか、動機づけをしながら長期的な視点で取り組んでいくこととなりました。

学校運営協議会は、学校、家庭、地域が子どもを育てる当事者として、自身の立場でできることを協働していくことが主たる役割です。さいたま市が目指す、「子どもたちが学校で学んだことを地域社会で生かし、多くの他者と協働して、自分の考えや行動で、自身の生活や地域、世の中をよりよく変えようと行動する力『エージェンシー』」を育むことが、この学校運営協議会でも求められています。今後も、熟議を重ね、子どもたちの健全育成のために、御協力をよろしくお願いいたします。

熟議の後は、小中それぞれの学校評価・学校自己評価システムシート結果の報告を受けて、次年度の学校運営に関する基本方針の仮承認、いじめ防止対策委員会の報告が行われました。